

牛久：学校周辺に見る自然

第9号 ひたち野うしく小、おくの義務教育学校、向台小

2021年4月29日発行

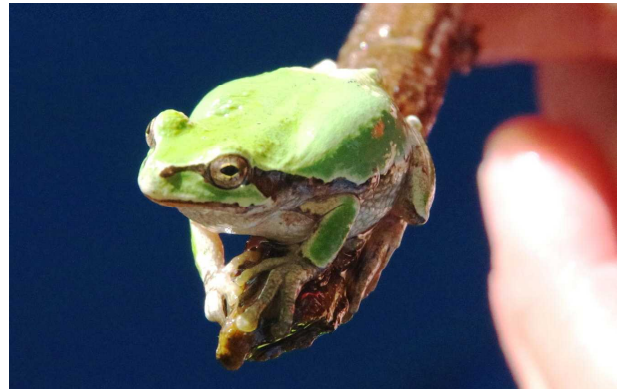
＜ 春はぐんぐん進んでいくよ ～カエル、カナヘビ、もう見ましたか？ ＞

みなさん、こんにちは。4月、市内各校では、3、4年生が校庭の生きもの観察をしています。春が進むと、カエルやカナヘビも見かけるようになりますね。みなさんは、もう見ましたか？



本体よりも尾の方が長いニホンカナヘビ（左）と、本体のアップ（右）。 4.15ひたち野うしく小

体がカサカサしていて、尾が長いのがカナヘビの特徴。それにしても、長い尾は、草の上を移動するときにバランスをとるのに役立つそうです。



おくの義務教育学校(左4.21)と向台小(右4.23)のニホンアマガエル。足の吸盤で草や壁などをよじ登ることができる。

校庭で一番よく見るカエルは、アマガエルでしょう。以前、中根小ではヒキガエル、向台小ではシュレーゲルアオガエル、牛久二中ではトウキョウダルマガエルが見られたこともありました。どれもカエルですが、足のつくりはそれぞれで、アマガエルの足の指先には吸盤があり、草などを登ることができます。家の壁に、はり付いていることもありますね。他のカエルの足はどうでしょう？



最後に、こちらに気づいて、さっと草の中にかくれたヒバリのつがい。繁殖期には、オスはメスをよぶためにホバリング（空中で停止して飛ぶ）しながらさえずりますが、頭のとっぺんの羽が立つのも繁殖期のオスの特徴です。地表に巣を作るので、イタチやヘビ、カラスなどに狙われるそうです。【理科支援員：宮内】

草の中にかくれるヒバリ。

奥の、頭のとっぺんの羽が立っているのがオス。

4.15ひたち野うしく小